2026年度　環境レポート
矢崎ネットワークシステムズ株式会社

Yazaki Network Systems Co., Ltd.
Environmental Report

当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、地球にやさしい企業活動を積極的に推進します。

ごあいさつ

矢崎ネットワークシステムズのある南アルプス市は2014年6月ユネスコエコパークとして登録され、自然環境と文化を共有の財産と位置づけるとともに 優れた自然環境の永続的な保全と持続可能な利活用に取り組んでいます。
当社は1960年に南アルプス市に工場を開設して以来、高品質なものづくりとサービスを通じてお客様の期待にお応えするとともに、自らもデジタルテクノロジーを使った取り組みによって『環境に、人に優しいスマートなものづくり』の実現に向け進化を続けてまいりました。
主力製品の一つであるスマートメーター通信ユニットは2014年の設置開始以降各家庭の電力使用量を自動で検針する事を可能にしましたが、2025年から始まった第２世代モデルでは更なる性能強化によって再エネの導入拡大や省エネ・CO2排出削減など、電力システムの柔軟性を引き上げる為に必要なデバイスとして期待されています。自社の取組みとして環境保全、地域活動の分野では太陽光発電、非化石燃料への切り替え、緑のカーテン、各種断熱処理などに積極的に取り組み事業所内の電力削減に努めるとともに、南アルプス市と櫛形山に『山桜の森』を整備し、芦安ファンクラブ・針葉樹会（一橋大学山岳部OB）主催の夜叉神峠の登山道整備にも継続して参画しております。
矢崎ネットワークシステムズは環境問題への取り組みを経営の最重要課題の一つとし、事業活動に伴う環境負荷の低減に努め、地元である南アルプスユネスコエコパークの保全、さらには持続可能な社会の実現と地球環境保全に貢献してまいります。

代表取締役社長
磯部　公克

事業所の紹介

■ 矢崎ネットワークシステムズ株式会社
- 所在地　　：山梨県南アルプス市有野３３４６
- 設立　　：1943年10月18日　［株式会社長谷川電機製作所］
- 従業員数 ：315名（連結：341名）（2026年4月1日現在）

■ 主な事業内容
- ネットワーク機器及び通信機器の製造
- 国内・海外の各種ネットワーク製品の出荷保証とカスタマイズ
- お客様の企画、開発計画に基づく新技術・設計・製造・試験等の提案型ビジネスの提供

© 2026 Yazaki Network Systems Co., Ltd.

環境活動／社会貢献活動

■ 2025年度の活動目標と結果報告

	環境目標項目	目標値	実績値	結果
1	エネルギー消費CO2の排出量をCO2換算で2025年度予測排出量の20.5%削減（電力購入予測量の20%の再エネ購入を含む） ※当社の消費エネルギー：電力＋灯油＋ガソリン＋軽油＋ＬＰＧ	１，８０２ t-CO2 以下	１，４５３ t-CO2	○
2	再生可能エネルギー購入量を電力購入予測量の20%に拡大 ※実績値は、実電力購入量に対しての比率	２０％ (769MWh)	２４％ (769MWh)	○
3	社会・環境課題の解決に取り組む活動の実施、及び資金、人材などを支援する。また、生物多様性の保全に取り組む。	１５件 以上	１７件	○

＊ 1-エネルギー消費CO2排出量の削減は、パリ協定やSBT短期目標に準拠し、2030年度末までに2020年度比45%以上削減することを目標にしています。（再エネ購入含む）
＊ 2-再エネ購入は、毎年4%ずつ増量し、2030年には電力購入量の40%を再エネ由来の電力にすることを目指しています。

■ 省エネ活動

- 太陽光発電（2011年10月～）
- 空調機集中コントロールの活用（夏/冬）
- 空調室外機遮光シート
- 建屋遮光シート
- 自動屋根散水機（夏期）（2015年6月～）
- 構内建屋のLED照明化 （８７.６%）
- 空調機の省エネ機器への更新
- 空調機への静電気除去シート取付けによる熱交換率向上
- 照明への人感センサー設置による点灯時間削減
- 本業活動の中での省エネ
  （DX化の推進による生産性の向上、省エネ性能品への更新 等）
- 緑のカーテン（2010年～15年目）
  構内3か所の建屋南面の日差しを軽減

太陽光発電

■ 再エネ購入

再生可能エネルギー由来の「トラッキング付FIT非化石証書」を購入しています。
2024年度から山梨県の発電所分を指定して購入しています。

© 2026 Yazaki Network Systems Co., Ltd.

■ 【環境／社会貢献活動】

● 協働の森「南アルプス 山桜の森」活動

2013年に南アルプス市とグリーンパートナーズシップ協定を結び、森の成長を助けると共に自然の大切さを学習する自然環境保全活動を行っています。
本活動は20回目を迎え、始まったばかりの紅葉と大きく成長した木々の下で、南アルプス市の方々や社長をはじめとする参加者の方々と、楽しく学び、作業を行いました。
・自然観察会（森の動植物とクマについての学習会）
・柵ネットのツタの除去　　・森の中のゴミ拾い

【南アルプス山桜の森】
- 南アルプス市 櫛形山 高尾地内苗畑地区
- 森全体面積：4.3ヘクタール
- ヤマザクラ、モミジ

11/1（土）『山桜の森　自然環境保全活動』
Y-NET･南アルプス市･高尾山財産区：28名

● 南アルプス山道整備

芦安ファンクラブ(NPO法人)、針葉樹会(一橋大学山岳部OB会)主催の山道整備に参加しています。
5月末、夜叉神峠トンネル入り口から桧尾峠、高谷山、中池へ繋がる山道の整備を行いました。大きな自然の中でのハードな作業ですが、主催の皆さんのサポートにより無事に１日を終了しました。

● クリスマスイルミネーションの公開とイベントの開催

12月23日のクリスマスソングやレーザーライトによるイベントをはじめ、1日～24日のイルミネーション公開を多くの皆さんに楽しんでいただきました。

● 近隣小学校の『地区探検』に協力

5月、小学2年生の「生活科 地区探検」に協力しました。インカム、自走／組立ロボットにワクワクの工場見学や電話機解体/電動ドライバー体験など、短い時間でしたが製造業への興味を持ち、楽しく学習できた様子でした。

● 献血への協力（2回/年）

4月と10月に献血バスを受け入れ、合計で44名が400mlの献血に参加しました。ポスター掲示、全社メール、従業員コミュニケーションプラットフォームを通じて献血への協力を募りました。

● 障がい者支援施設への協力

事業所で製造した朝採り原木シイタケの販売場所として食堂の一部を提供しました。（不定期：2025年度は2回）大きく肉厚なしいたけはあっという間に完売となりました。

© 2026 Yazaki Network Systems Co., Ltd.

- ペットボトルキャップ回収活動【労働組合協働】（2010年以前から実施）

  『世界の子供たちのために』という趣旨のもと、ペットボトルキャップの回収を行っています。社内の自動販売機利用分と家庭で集めたキャップを回収することで、従業員家族も含めた活動となっています。年に1回の計量により回収量を確認しています。2024年4月から2025年9月までの回収分を11月に回収業者に届けました。リサイクル後に『ＪＣＶ＆ユニセフ』に寄付していただいています。

- プルタブ回収活動【労働組合協働】（2022年度～）

  『車いすを送ろう！』を目的にプルタブの回収を行っています。ペットボトルキャップと同じシステムで回収を行います。一定の量が集まるまで自社保管となるため、毎年3月に計量して年間の回収量を確認しています。10月に活動開始から2025年9月までの回収分を協同で回収活動を行っている他社労働組合に届けました。

- 使い捨てカイロの回収活動（2025年度開始）

  環境保全活動の一環として使い捨てカイロの回収を開始しました。冬季に構内7カ所に回収箱を設置し、自宅からの持ち込みも含めて回収活動を推進しました。寄付した使い捨てカイロは、水質浄化剤や土壌改良剤としてアップサイクルされ、水と土の再生に活用されています。

寄付したペットボトルキャップ：185kg

寄付したプルタブ：37.68kg

寄付した使い捨てカイロ：48.4kg

- 緑の募金活動（2013年度～）

  9月の10日間を募金期間とし、部門ごとに募金箱を設置、ポスター、メール、放送を通じて全従業員へ呼びかけを行っています。集まった募金は、募金箱をお借りした『公益財団法人山梨県緑化推進機構』様に寄付しました。

- 子ども食堂等への寄付（2023年度～）

  子ども食堂への補助金制度など、子どもの幸せを願い支援する『南アルプス市 子ども若者ささえ愛基金』（南アルプス市の事業）に寄付しました。

- 被災地を応援

  ・石川県への応援消費として、会社創立記念品に石川県穴水町の能登の素材を使ったクッキーを選定しました。

- 廃棄傘の回収／寄付

  ・廃棄傘をアップサイクルする活動に、社員が持ち寄った52本の廃棄傘を寄付しました。イベントで使用するマスコットやワークショップの素材として活用されます。（やまなしSDGs推進企業間の協力）

★緑の募金（9月）
- 寄付額・・・ 26,978円

★子ども食堂等への寄付（11月）
- 寄付額・・・ 50,000円

★年間回収量
- ペットボトルキャップ・・ 100kg
- プルタブ・・・・・・・・ 10.19kg

© 2026 Yazaki Network Systems Co., Ltd.

オール矢崎体育大会に参加

7月に矢崎グループの一員となり、初めてのグループイベントとなる体育大会に参加しました。初体験のイベントに交流の少ない仲間とも楽しく過ごすことができました。開催地区の地域貢献や、従業員満足度の向上につながると考えられます。

やまなしSDGs推進企業として

山梨県が持続可能な開発目標(SDGs)に積極的に取り組む企業や団体等を「見える化」し、県内におけるSDGsの取り組みの輪を広げるためにスタートした「やまなしSDGs登録制度」の「第１期やまなしSDGs推進企業」(2022年12月)に登録されています。
3年更新のため、11月に継続更新を行いました。（2028年11月まで）
この制度には、2026年3月31日現在、第10期までで636の団体が登録されています。
2030年までの目標と2025年12月時点の実績は下記になります。
登録企業宛てに案内された企画やセミナー等にも取り組んでいます。

Y-NETの重点的な取組	SDGs達成年 2030年度までに	登録時 2022年12月	3年経過 2025年12月
再生可能エネルギー利用率	40%	4.0%	17.7%
女性管理職の割合	30%	4.5%	4.5%
子ども食堂への寄付	10万円	0円	5万円

© 2026 Yazaki Network Systems Co., Ltd.

■ 【環境教育・環境啓発活動】

● 環境月間（6月）の普及活動

垂れ幕（玄関）とポスター（構内各所）を掲示し、環境講演会を開催するなど、環境月間を知ってほしいと始めた活動ですが、今では環境について考える機会として発展しています。

● 環境講演会の開催

20回目の活動を迎えた「南アルプス山桜の森」と「生物多様性」をテーマに、山桜の森の活動に11年間携わってきた講師を招き、講演会を開催しました。過去の活動の様子や、南アルプスエコパークの緩衝地域としての役割、グリーンパートナーズシップについて振り返り、山桜の森の重要性を改めて認識する機会となりました。また、森が変化していく様子や今後の森との関わり方について学び、参加者からは「自然に対する考え方が変わった」などの感想が聞かれました。

7月3日（木）　参加者：33名

● 全社環境教育

全従業員を対象に当社のISO14001の認証を維持するために必要なこと、会社の取組みや活動の実例、SDGsの中で環境に関わることについての学習を年1回実施しています。

■ 【廃棄物削減活動】

- 分別／有価物化の推進（各職場）
- リサイクル品保管センターでの細かな分別

★主な有価物

- 半田屑／半田付きウエス
- 半田鉛フリー屑
- 鉄くず／線材／基板
- 廃却部品／製品／設備
- 廃ダンボール／古紙
- 捨て基板／空リール(廃プラスチック)

■ 【業務改善による環境負荷の低減】

● 設備の条件・実績記録のデジタル化

製品ごとに変わる温度条件等の実績についてアプリケーションを活用したデジタル管理を可能にしました。ラインの安定稼働による生産性の向上や付帯作業の効率化により電力使用量の削減につながり、ペーパーレス化も進みました。

● 設備点検・チェック作業のデジタル化（帳表入力用のアプリケーションの導入）の継続

記入・撮影・報告をタブレット端末で行うことで、情報のデジタル管理が実現し、設備異常の事前対策（予兆、傾向の認知）、異常発生時の調査時間の短縮、早期/適切な対応が可能になりました。生産性の向上に加え、紙管理の排除による業務の効率化や紙使用量の減少により廃棄物削減にもつながっています。

© 2026 Yazaki Network Systems Co., Ltd.

環境に関わる法規制の順守状況

法改正の速やかな把握により自社の事業活動に関わる法規制を確実に維持管理しています。
また、法規制に基づく所轄官庁への報告、届出の実施等、法規制を確実に順守しています。

■ 地下水の水質検査

- 地下水：地下水モニタリングを「2回／年」実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

採水年月日	物質名	地下水基準(mg/L)	2025年度内最大測定値	結果
① 2025年 4月 11日 ② 2025年 10月 7日	1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.1以下	0.001未満	○
	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.04以下	0.001未満	○
	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	1以下	0.004	○
	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.01以下	0.001	○
	ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.002以下	0.0002未満	○

★地下水モニタリング採水について

2009年に採水井戸（3か所）を設置し、土壌汚染対策法に基いた地下水基準順守のモニタリングを実施しています。
山梨県、南アルプス市へ「問題なし」の結果報告を継続しています。

■ 騒音および振動の測定

- 騒音及び振動の測定を敷地境界において「1回／年」実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

測定年月日	区分		自主基準値	山梨県条例値	2025年度内最大測定値	結果
2025年 11月27日 ／ 12月3日	騒音	朝	53	55	47	○
		昼	57	60	48	○
		夕	53	55	44	○
		夜	45	45	42	○
	振動	昼	55	60	30未満	○
		夜	50	55	30未満	○

★騒音、振動の測定について

構内6か所にて、騒音規制法、振動規制法の山梨県条例に基づき、測定を実施しています。
学校が隣接しているため、自主基準値を設定しています。

■ フロン排出抑制法の対応

- 対象機器：空調室内機・室外機、製造設備、食堂設備等の内、フロンを使用しているもの。（家電リサイクル品は除く）
- 簡易点検／定期点検　：　１台ごとに点検時期を越えることなく実施し、問題の無いことを確認しています。

点検種類	点検の時期	実施年月日	点検数 （台）	結果
簡易点検　1回目	３か月毎に１回	2025年 4月16日～6月20日	385	○
簡易点検　2回目		2025年 7月29日～9月25日	385	○
簡易点検　3回目		2025年 10月22日～12月17日	383	○
簡易点検　4回目		2026年 1月28日～3月17日	382	○
定期点検 対象：50kW以上の空調機	３年毎に１回	2025年9月	262	○

© 2026 Yazaki Network Systems Co., Ltd.

環境方針

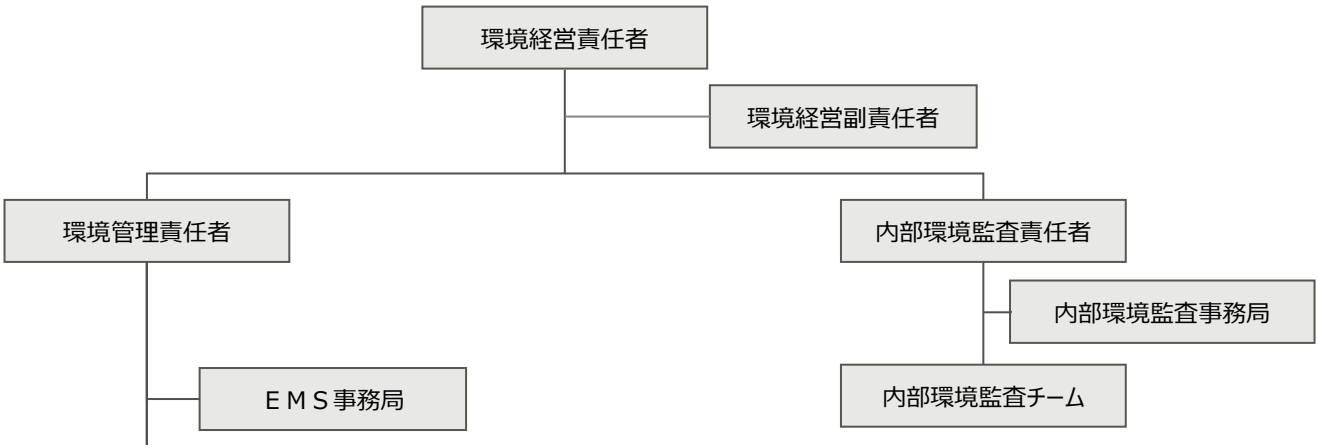
当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう地球にやさしい企業活動を積極的に推進します。

■ 基本方針

1. 環境に与える影響を常に把握し、環境関連法、条令を順守します。さらに化学物質や廃棄物による汚染の予防や生物多様性保全を始めとした地球環境保全活動に努めます。
2. ＩＳＯ１４００１に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、環境により良い事業活動を推進するとともに、継続的な維持改善を実施します。
3. エネルギー消費CO2排出量の削減に努め、脱炭素社会の実現に貢献します。
4. 地域に根差した企業として社会への貢献活動に参加するとともに、環境啓発活動を推進します。
5. 中長期目標を具体的に推進するため環境目標を設定し、組織的活動により達成を目指す取り組み、および見直しを継続的に行います。
6. この方針は、教育・社内広報活動を通して当社内での業務に従事する全員に周知を行い、環境意識の高揚を図ります。

環境活動に対する対象組織

■ 組織構成は3社、351名（2026.4.1時点）となっており、活動体制は下図の通りです



部門名称	部門構成
コーポレート部門	事業企画統括部（経営管理、総務、人事）、DX推進室
ビジネス推進部門	SCM統括部（購買、プロダクトオペレーション、サービスオペレーション）
製造部門	製造統括部（製造ソリューション、製造）
品質保証部門	品質統括部（NIサービス、品質保証）
開発部門	プロダクト開発統括部
ＹＨＢＳ部門	㈱ワイ・エイチ・ビジネスサポート

© 2026 Yazaki Network Systems Co., Ltd.

環境負荷データ

使用量 (INPUT)

- 電力　：　3,192 MWh
- 灯油　：　0.3 kL
- ガソリン　：　0.4 kL
- 軽油　：　0.7 kL
- LPG　：　23.3 t

※電力：再エネ購入量(769MWh)は
マイナスしていません

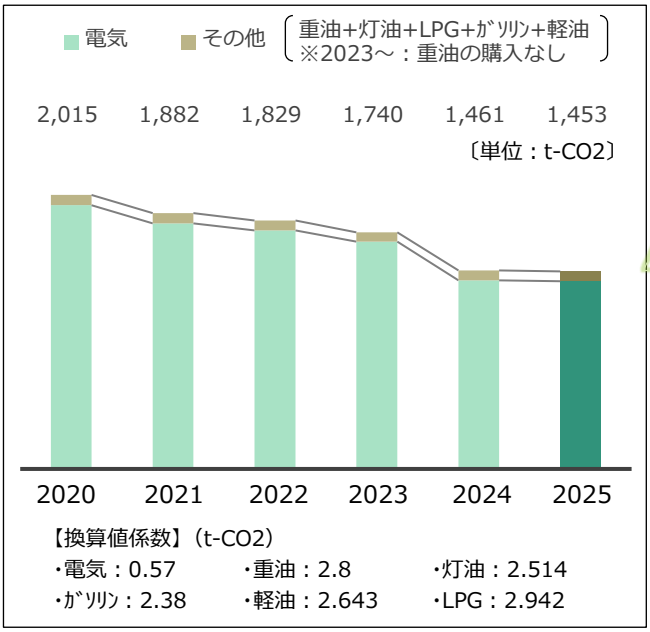
排出量 (OUTPUT)

- CO2　：　1,453 t-CO2
- 廃棄物　：　97 t

※CO2：再エネ購入量として
438t-CO2をマイナス済み

環境負荷データの経年推移（主要な取り組み事例）

■ CO2排出量



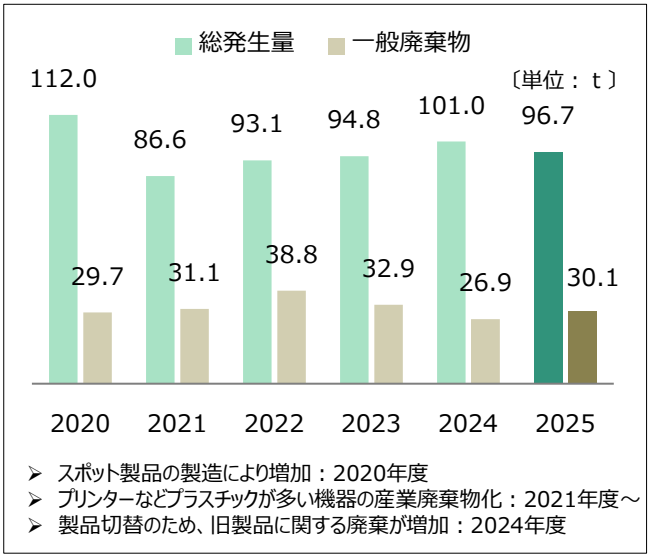
【換算値係数】(t-CO2)
・電気：0.57　・重油：2.8　・灯油：2.514
・ｶﾞｿﾘﾝ：2.38　・軽油：2.643　・LPG：2.942

★ 再エネ購入（2021年度より開始）
- 2025年度：769MWh（438.3t-CO2）を購入
（※換算係数0.57）

★ 省エネ対策
- 太陽光発電
- 設備更新時の省エネ機器への切替
- 静電気除去シートの設置
- 照明の人感センサー化
- 遮光シートの設置　他
※詳細は2ページ参照

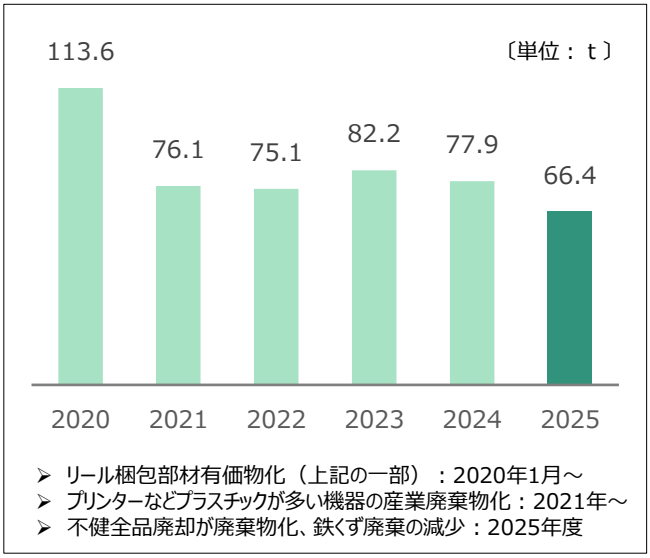
★ その他
- 2022年度に重油使用設備を廃却により、
2023年度以降、重油の使用はありません

■ 廃棄物



- スポット製品の製造により増加：2020年度
- プリンターなどプラスチックが多い機器の産業廃棄物化：2021年度～
- 製品切替のため、旧製品に関する廃棄が増加：2024年度

■ 有価物



- リール梱包部材有価物化（上記の一部）：2020年1月～
- プリンターなどプラスチックが多い機器の産業廃棄物化：2021年～
- 不健全品廃却が廃棄物化、鉄くず廃棄の減少：2025年度

★ 廃棄物削減への活動
- 分別の推進を基本の活動としています。
- 主な有価物については6ページをご参照ください。

© 2026 Yazaki Network Systems Co., Ltd.

お問い合わせ先

矢崎ネットワークシステムズ株式会社

総務部 環境施設管理
〒400-0226　山梨県南アルプス市有野３３４６
TEL：055-285-0383　FAX： 055-285-0314

発行責任者　磯部　公克
編集責任者　上畠　康一
発行年月日　2026年 7月 2日
記載事項対象期間　2025年4月～2026年3月
報告URL：https://yazaki-net.co.jp/

© 2026 Yazaki Network Systems Co., Ltd.